

ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド

愛称: あんしんロボ

第9期運用報告書（全体版）

（決算日 2022年11月25日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年7月17日から2028年11月27日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・ファンズ・VI plc・マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（5月と11月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド」は、2022年11月25日に第9期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	マン・ファンズ・ VI plc－マン・ AHL・ターゲット リスク－日本円 クラス（ヘッジ付） 組 入 比 率	純 資 産 額
	（分配落）	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
5 期（2020年11月25日）	10,023	250	6.2	—	—	95.8	7,368
6 期（2021年 5 月25日）	10,040	250	2.7	—	—	95.7	5,791
7 期（2021年11月25日）	10,114	1,100	11.7	—	—	93.1	4,366
8 期（2022年 5 月25日）	9,110	0	△ 9.9	—	—	95.5	4,096
9 期（2022年11月25日）	8,567	0	△ 6.0	—	—	95.9	3,692

（注）基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	マン・ファンズ・ VI plc－マン・ AHL・ターゲット リスク－日本円 クラス（ヘッジ付） 組 入 比 率
		騰 落 率			
期首（前期末） 2022年 5 月25日	円 9,110	% —	% —	% —	% 95.5
5 月末	9,249	1.5	—	—	95.9
6 月末	8,665	△4.9	—	—	95.1
7 月末	8,932	△2.0	—	—	95.1
8 月末	8,843	△2.9	—	—	95.3
9 月末	8,291	△9.0	—	—	98.1
10 月末	8,364	△8.2	—	—	96.2
期 末 2022年11月25日	8,567	△6.0	—	—	95.9

（注）基準価額は 1 万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

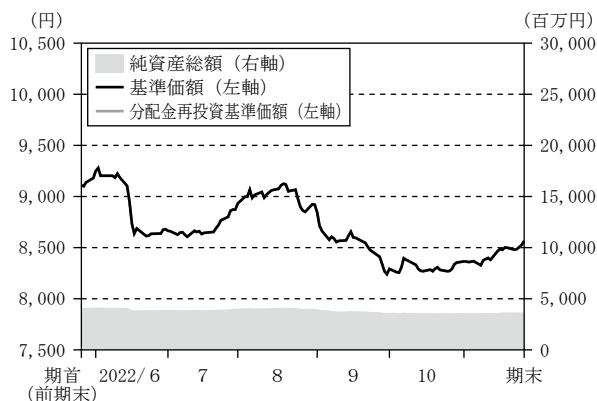
（注）当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第9期首：9,110円

第9期末：8,567円（既払分配金0円）

騰落率：△6.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2022年5月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」において、全セクターで損失が発生し、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・ファンズ・VI plc—マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	△5.7%
T&Dマネーアカウンタマザーファンド	0.0

■ 投資環境

【株式市場】

2022年5月末は、欧米金利上昇が一服したことを受けて株価反発となりましたが、その後、6月前半にかけて、各国で物価上昇率が加速するなか、主要国中央銀行がインフレ圧力抑制のため金融引締め姿勢を強化し金利が上昇したことから、世界的に株価は大きく下落しました。6月後半から8月前半には、急速な利上げに伴う景気減速懸念が強まり、FRB（米連邦準備制度理事会）が緩和的な金融姿勢に戻るとの期待が広がり、先進国の株式市場は大きく上昇しました。しかし、8月後半に、パウエルFRB議長のジャクソンホール講演で、金融引締め継続姿勢が改めて確認され、利上げ休止の期待が薄れたことから、株式市場は売り圧力に押され大きく下落する展開となりました。9月も前月後半同様に、世界経済の減速懸念がリスク資産の重しとなり、世界的に株価下落が続きました。10月から期末にかけては、企業収益の減速、高インフレや金融当局による引締め予想などは根強いものの、主要国中央銀行による金融引締めペースの減速観測が広がるなか、金利は頭打ちし低下したことを受けて、株価は底堅い展開となりました。

【債券市場】

期初は、利回り上昇が一服しましたが、2022年6月前半には主要国中央銀行が金融引締め姿勢を強めたことから主要国の金利は上昇しました。その後、7月末にかけては、急速な利上げによる景気減速懸念が高まり、大幅利上げ観測が和らいだことなどから、欧米金利は低下する展開となりました。しかし8月に入り、主要国金融当局の利上げ継続への断固たる姿勢や、欧州などでインフレ加速に歯止めがかからない状況から金利上昇が再加速しました。9月以降も、物価上昇率の再加速の兆候が見られるなか、主要各国で利上げが相次いだことから金利上昇が続きました。10月後半以降は、一部のFRB幹部が利上げスピードの調整に言及したこと、またイタリア総選挙後の右派政権誕生懸念や英国の財政政策を巡る政治不安の一巡などもあり金利上昇が一服し、期末にかけては、世界経済の減速懸念が再び強まり、金利は低下しました。

【その他市場】

インフレ連動債は、各国金利動向やインフレ動向に応じて、各地域・各国で変動幅や時期などに違いは見られたものの、期を通じて、国債金利の上昇に伴う実質金利の上昇から、インフレ連動債価格は下落しました。

社債は、期中で大きく価格が上下動しましたが、期を通じては小幅の下落となりました。期初は小動きでしたが、2022年6月に景気減速懸念の高まりからスプレッド（信用リスクを反映した上乗せ金利）が拡大し社債は軟調推移となりました。7月から8月半ばにかけては、利上げ観測が和らぐ中でスプレッドは縮小し、堅調推移となりましたが、8月後半から9月下旬には、各国金融引締めに伴う景気減速懸念からスプレッドが拡大し、社債価格は下落しました。10月以降は一部のFRB幹部による利上げスピード調整への言及などからスプレッドは縮小し、社債価格は上昇基調となりました。

商品指数は、期初から7月初旬にかけて、欧州でのエネルギーの安定供給が注目される一方、世界の経済成長見通しの悪化や需要減少懸念から大きく下落しました。その後、7月中旬から9月下旬にかけては、各国の金融引締め政策や先行き景気見通しを巡り、商品価格は上下する展開となりました。10月から期末にかけても、狭い範囲で方向感の定まらない価格推移となりました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.12\%$ から期末は $\Delta 0.20\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウンタマザーファンド」を組入れました。

【マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）】

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

【T & Dマネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T & Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

【マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）】

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

【T & Dマネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年 5 月26日から2022年11月25日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2022/ 5 /26～2022/11/25		
	金額	比率	
平均基準価額	8,724円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	40円 （ 15） （ 24） （ 1）	0.455% （0.166） （0.272） （0.017）	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用） （その他）	1 （ 1） （ 0）	0.009 （0.009） （0.000）	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	41	0.464	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

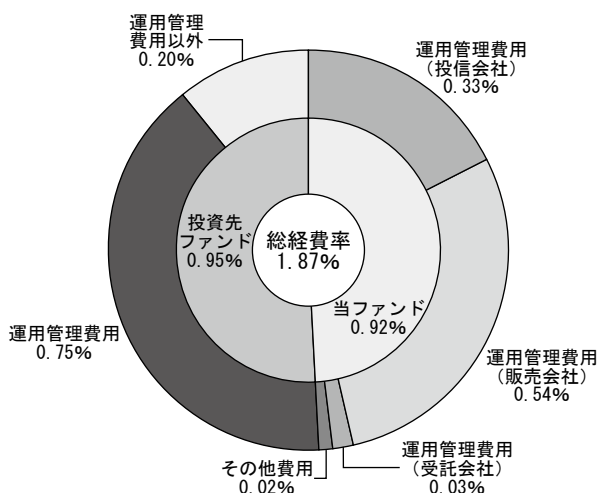
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①当ファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2022年5月26日から2022年11月25日まで）

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ター ゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	口 －	千円 －	口 12,309	千円 144,000

（注）金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等（2022年5月26日から2022年11月25日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2022年11月25日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	期首（前期末）	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ター ゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	口 305,007	口 292,698	千円 3,540,836	% 95.9

（注）比率は純資産総額に対する評価額の比率。

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	
T & Dマネーアカウントマザーファンド	千口 49	千口 49	千円 49	

（注）T & Dマネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は99千口です。

（注）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2022年11月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付)	3,540,836	95.3
T & D マネーアカウンタマザーファンド	49	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	173,874	4.7
投 資 信 託 財 産 総 額	3,714,759	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,714,759,676円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	173,873,087
マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス (ヘッジ付) (評価額)	3,540,836,648
T & D マネーアカウンタマザーファンド(評価額)	49,941
(B) 負 債	21,888,495
未 払 解 約 金	4,054,896
未 払 信 託 報 酬	17,492,032
未 払 利 息	319
そ の 他 未 払 費 用	341,248
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	3,692,871,181
元 本	4,310,420,909
次 期 繰 越 損 益 金	△ 617,549,728
(D) 受 益 権 総 口 数	4,310,420,909口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,567円

(注) 期首元本額 4,497,136,942円
期中追加設定元本額 260,048,924円
期中一部解約元本額 446,764,957円
(注) 元本の欠損
当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は617,549,728円です。
(注) 1口当たり純資産額は0.8567円です。

損益の状況

当期 自2022年5月26日 至2022年11月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 49,180円
支 払 利 息	△ 49,180
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△205,517,404
売 買 益	20,354,385
売 買 損	△225,871,789
(C) 信 託 報 酬 等	△ 17,833,292
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△223,399,876
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△391,963,447
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,186,405
(配 当 等 相 当 額)	(△ 4,900)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,181,505)
(G) 合 計 (D+E+F)	△617,549,728
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△617,549,728
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,186,405
(配 当 等 相 当 額)	(△ 4,900)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,181,505)
繰 越 損 益 金	△615,363,323

(注) 損益の状況の中で
(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期末における費用控除後の配当等収益 (0円) および費用控除後の有価証券売買等損益 (0円) より、分配対象収益は0円 (1万口当たり0円) となりましたので、当期の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2022年5月26日 ～2022年11月25日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

《お知らせ》

2022年8月26日適用で、信託期間を延長し、信託終了日を2023年11月27日から2028年11月27日とするよう約款変更を行いました。

補足情報

T & D マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & D マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	アイルランド籍／外国投資法人／円建
運用の基本方針	中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 投 資 対 象	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
投 資 態 度	・投資運用会社独自の数量モデル「マン・ターゲットリスク戦略」に基づき、デリバティブ取引を積極的に活用します。 ・世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスに投資します。 ・システマチック・アルゴリズムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させます。 ・目標ボラティリティ水準を維持することにより、あらゆる市場環境において超過収益の獲得を目指します。なお、目標ボラティリティは10%とします。 ・デリバティブ取引において、レバレッジを活用します。 ・投資運用会社の判断により、ショートポジションを構築して保有しているロングポジションを相殺し、ポジションを削減する場合があります。 ・資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	・有価証券（先物等のデリバティブ取引は含みません。）の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ・一発行会社の発行する譲渡可能な証券、金融市場証券の組入れは、原則として10%以下とします。 ・店頭デリバティブ取引におけるカウンターパーティーへのリスクエクスポージャーは、原則として純資産総額の5%以下とします。
決 算 日	毎年12月31日
分 配 方 針	原則として分配は行いません。
管 理 会 社	マン・アセット・マネジメント（アイルランド）リミテッド
投 資 運 用 会 社	AHL パートナース LLP

※次ページ以降の記載は、マン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手した「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスク」の監査済報告書および保有明細をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

※「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」は、「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する円建て外国投資信託証券です。

マン・ファンズ・VI plcーマン・AHL・ターゲットリスク

(1) 損益計算書

計算期間：2021年1月1日～2021年12月31日

単位：米ドル

収益

損益通算後の金融資産・負債の純増減額 512,052,032

収益合計 512,052,032

費用

運用報酬 37,295,801

取引およびブローカー費用 201,542

事務代行費用 14,683,648

保管費用 687,712

弁護士費用 242,922

監査費用 39,833

役員報酬 15,093

その他費用 1,240,573

合計 54,407,124

払い戻し費用 7,084,284

費用合計 47,322,840

財務費用

受益証券保有者への分配額 136,473

136,473

受益証券保有者に帰属する純損益

464,592,719

(注) 日付は現地基準です。

(注) 「マン・ファンズ・VI plcーマン・AHL・ターゲットリスク」における「日本円クラス（ヘッジ付）」の持分比率は5.3%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2021年12月31日

(A) 国債

銘柄名	数量	評価額
フランス		米ドル
French Discount T-Bill 0% 09/03/2022	50,000,000	56,942,447
French Discount T-Bill 0% 18/05/2022	50,000,000	57,007,552
French Republic Government Bond Oat 0.7% 25/07/2030	288,990,450	405,053,655
小計		519,003,654
ドイツ		
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond 0.5% 15/04/2030	319,774,080	450,140,543
イギリス		
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 22/03/2029	323,160,360	551,461,774
アメリカ		
United States Treasury Bill 0% 14/04/2022	50,000,000	49,991,224
United States Treasury Bill 0% 21/04/2022	50,000,000	49,989,533
United States Treasury Bill 0% 28/04/2022	50,000,000	49,988,707
United States Treasury Inflation Indexed Bond 0.13% 15/01/2031	553,421,830	619,291,895
United States Treasury Inflation Linked Indexed Bond 0.13% 15/04/2026	439,684,800	474,863,877
小計		1,244,125,236
合計		2,764,731,207

(B) クレジット・デフォルト・スワップ

売り		
銘柄名	数量	評価額
欧州		米ドル
Itraxx Europe S36V1 5 Year 100 0bps 20 December 2026 GS	(1, 210, 000, 000)	35, 848, 987
Itraxx Xover S36V1 5 Year 500 0bps 20 December 2026 CS	(530, 000, 000)	71, 450, 548
小計		107, 299, 535
アメリカ		
NAIGS37V1 5 Year 100 0bps 20 December 2026 GS	(1, 335, 000, 000)	32, 619, 146
NAIGS37V1 5 Year 100 0bps 20 December 2026 JPM Securities	(535, 000, 000)	49, 482, 934
NAIGS37V1 5 Year 100 51.36bps 20 December 2026 GS	(5, 000, 000)	122, 169
小計		82, 224, 249
合計		189, 523, 784

買い		
銘柄名	数量	評価額
欧州		米ドル
Itraxx Europe S36V1 5 Year 100 50.25bps 20 December 2026 GS	15, 000, 000	(444, 409)
Itraxx Xover S36V1 5 Year 500 253.15bps 20 December 2026 CS	10, 000, 000	(1, 348, 124)
合計		(1, 792, 533)

(C) トータルリターン・スワップ

銘柄名	数量	評価額
アメリカ		米ドル
BBG Commex AG&LV Capital Partners	6, 161, 000	32, 198, 773
合計		32, 198, 773

(D) 先物取引

銘柄名	買／売	数量	評価額
オーストラリア			米ドル
SPI 200 Futures March 2022	買	1,408	2,138,363
Australian 3 Years Bond Future March 2022	買	98	3,512
小計			2,141,875
カナダ			
Canadian 10 Years Bond Futures March 2022	買	2,152	5,121,498
S&P/TSX 60 Index Futures March 2022	買	1,551	4,776,790
小計			9,898,288
フランス			
CAC40 10 EURO Futures January 2022	買	1,409	2,637,340
ドイツ			
STOXX EURO ESG-X March 2022	買	286	207,200
DAX Index Futures March 2022	買	320	2,308,502
SWISS MARKET Index Futures March 2022	買	1,757	5,739,253
EURO STOXX 50 March 2022	買	4,652	5,783,489
小計			14,038,444
香港			
HSCEI Futures January 2022	買	1,509	511,666
HANG SENG IDX Futures January 2022	買	585	598,418
小計			1,110,084
イタリア			
FTSE/MIB Index Futures March 2022	買	689	2,669,418
日本			
TOPIX Index Futures March 2022	買	1,863	1,409,484
オランダ			
Amsterdam Index Futures January 2022	買	623	1,408,786
シンガポール			
SGX NIFTY 50 January 2022	買	411	206,832
NIKKEI 225 (SGX) March 2022	買	1,651	1,645,513
MSCI SING IX ETS January 2022	買	1,656	337,259
小計			2,189,604
南アフリカ			
FTSE/JSE TOP 40 March 2022	買	599	554,649
韓国			
Korea 3 Years Bond Future March 2022	買	100	9,598
KOSPI2 INX Futures March 2022	買	1,581	85,127
小計			94,725
スウェーデン			
OMXS30 ESG Future January 2022	買	135	136,394
OMXS30 Index Futures January 2022	買	4,991	5,340,090
小計			5,476,484

銘柄名	買／売	数量	評価額
台湾			米ドル
FTSE TAIWAN INDEX January 2022	買	1,001	633,359
イギリス			
FTSE 100 Index Futures March 2022	買	2,524	3,516,648
アメリカ			
S&P500 EMINI Future March 2022	買	2,280	8,544,605
United States 5 Years Note (CBT) Bond Futures March 2022	買	227	96,680
NASDAQ 100 E-MINI March 2022	買	841	1,729,876
EMINI S&P500 ESG March 2022	買	63	239,650
United States 10 Years Note (CBT) Bond Futures March 2022	買	10,986	12,758,417
United States Long (CBT) Bond Futures March 2022	買	2,593	5,147,261
United States ULTRA CBT Bond Futures March 2022	買	2,641	10,151,992
小計			38,668,481
合計			86,447,669

銘柄名	買／売	数量	評価額
オーストラリア			米ドル
Australian 10 Years Bond Futures March 2022	買	3,947	(934,691)
ドイツ			
EURO-BTP Future March 2022	買	2,138	(6,590,614)
EURO-OAT Future March 2022	買	2,555	(6,985,699)
EURO-BOBL Future March 2022	買	158	(198,862)
EURO-BUND Future March 2022	買	4,531	(13,109,449)
EURO-BUXL 30 Years Bond Futures March 2022	買	400	(4,274,075)
小計			(31,158,699)
日本			
Japan 10 Years (OSE) Bond Futures March 2022	買	658	(2,351,464)
シンガポール			
FTSE CHINA A50 January 2022	買	6,188	(1,155,345)
南アフリカ			
KOREA 10 Years Bond Futures March 2022	買	2,380	(1,864,816)
イギリス			
Long GILT Future March 2022	買	2,704	(1,052,042)
アメリカ			
United States 2 Years Note (CBT) Bond Futures March 2022	買	96	(16,469)
合計			(38,533,526)

(E) 為替先渡取引

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
AUD	USD	733,610	7,000
BRL	USD	74,438,747	1,884,521
CHF	USD	154,597,945	1,600,287
EUR	USD	17,763,078	71,835
EUR	USD	2,248,000,775	9,016,454
GBP	USD	1,050,389,462	15,524,177
JPY	USD	211,228,778	381,788
SEK	USD	406,256	2,613
SEK	USD	403,060	1,815
SGD	USD	9,365,553	107,987
USD	JPY	223,996,503	1,709,349
USD	JPY	45,804,681	412,854
USD	SEK	4,362	10
合計			30,720,690

通貨		評価額	評価損益
買い	売り		
		米ドル	米ドル
AUD	USD	7,958	(2)
BRL	USD	1,904,500	(3,468)
CHF	USD	1,142,756	(266)
EUR	USD	23,146,039	(910)
GBP	USD	11,319,486	(3,134)
JPY	USD	10,843,347	(166,760)
JPY	USD	218,900,965	(1,613,749)
SEK	USD	10,666	(16)
SEK	USD	4,215	(1)
SGD	USD	102,372	(52)
USD	BRL	290,000	(6,201)
USD	CHF	289,202	(2,736)
USD	EUR	1,163,024,207	(8,025,430)
USD	EUR	9,765,626	(51,011)
USD	GBP	582,710,072	(14,689,997)
USD	GBP	207,707	(3,332)
USD	SEK	413,258	(1,904)
合計			(24,568,969)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

T & D マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第10期（決算日 2022年9月12日）
（計算期間 2021年9月11日から2022年9月12日）

「T & D マネーアカウントマザーファンド」は、2022年9月12日に第10期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。 株式への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
6 期（2018年9月10日）	円 10,006	% △0.1	% —	% —	百万円 2
7 期（2019年9月10日）	10,000	△0.1	—	—	2
8 期（2020年9月10日）	9,995	△0.1	—	—	0.19858
9 期（2021年9月10日）	9,995	0.0	—	—	0.099834
10期（2022年9月12日）	9,995	0.0	—	—	0.099834

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

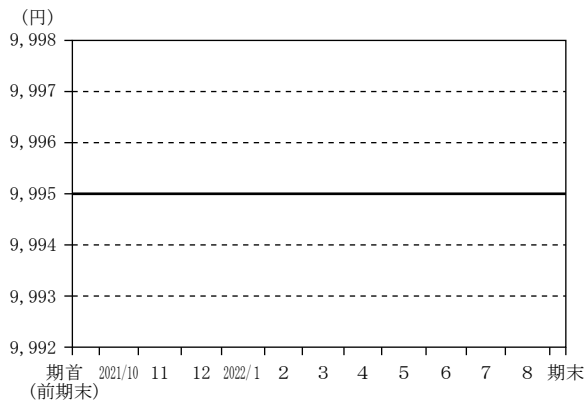
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
期首（前期末） 2021年 9 月10日	円 9,995	% —	% —
9 月末	9,995	0.0	—
10月末	9,995	0.0	—
11月末	9,995	0.0	—
12月末	9,995	0.0	—
2022年 1 月末	9,995	0.0	—
2 月末	9,995	0.0	—
3 月末	9,995	0.0	—
4 月末	9,995	0.0	—
5 月末	9,995	0.0	—
6 月末	9,995	0.0	—
7 月末	9,995	0.0	—
8 月末	9,995	0.0	—
期 末 2022年 9 月12日	9,995	0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,995円からスタートし、期末も9,995円となりました。コールローン運用対象としており、基準価額の変動はありませんでした。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.12%から期末も△0.12%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細（2021年9月11日から2022年9月12日まで）

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況（2021年9月11日から2022年9月12日まで）

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等（2021年9月11日から2022年9月12日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2022年9月12日現在）

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成（2022年9月12日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 99	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	99	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年9月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	99,834円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	99,834
(B) 純 資 産 総 額 (A)	99,834
元 本	99,887
次 期 繰 越 損 益 金	△ 53
(C) 受 益 権 総 口 数	99,887口
1万口当たり基準価額(B/C)	9,995円

（注）期首元本額 99,887円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円

（注）元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は53円です。

（注）1口当たり純資産額は0.9995円です。

（注）当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 ロボット戦略 世界分散ファンド 49,921円
 ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド 49,966円

損益の状況

当期 自2021年9月11日 至2022年9月12日

項 目	当 期
(A) 前 期 繰 越 損 益 金	△53円
(B) 合 計 (A)	△53
次 期 繰 越 損 益 金 (B)	△53